

## 地方創生推進交付金活用事業

## 下野市を知ればもっと好きになる！交流・関係・定住人口好循環拡大プロジェクト

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和2年	令和3年	目標値 令和4年度
1	転入超過人口	年度目標値	0人	10人	20人
		実績値	40人	244人	51人
<p>これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組</p> <p>令和4年度住民基本台帳年報によると転入者数は2,366人、転出者数2,315人であり転入超過数51人であった。転出者数は昨年度より193名増えているが、転入者は昨年と同数だった。</p> <p>今後も、市民満足度を高めることで転出者を抑えるとともに、移住支援制度の充実を図り、東京圏からの転入者を増やす。また、引き続き地域の住民を巻き込みながら関係人口創出事業に取り組み、移住、定住者の増加を目指す。</p>					
	担当課	総合政策課			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和2年	令和3年	目標値 令和4年度
2	アニメファンクラブ会員数及びSNSを活用した情報発信サポーター数の合算	年度目標値	100人	150人	50人
		実績値	110人	153人	168人
<p>これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組</p> <p>これまでサブカルチャーである市内ゆかりの伝説をモチーフにしたご当地アニメ「サクラノチカイ」を活用したPR事業に取り組んできた。この事業を継続していくため令和2年3月にファンクラブを創設した。令和4年度までの会員数は昨年度より28名増の122名であった。</p> <p>下野市の情報を発信した情報発信サポーター数は、「#プチハピしもつけ」をつけてSNSに投稿した数と、令和4年度に開催した「しもつけフォトコンテスト」の参加者数を合算すると昨年度から149名増の延208名であった。</p> <p>引き続き、様々な分野で下野市の魅力を伝え、関係人口の創出を図っていく。</p>					
	担当課	総合政策課			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和2年	令和3年	目標値 令和4年度
3	関係人口事業関連イベントへの参加者数	年度目標値	50人	60人	70人
		実績値	90人	78人	81人
<p>これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組</p> <p>ご当地アニメ「サクラノチカイ」の聖地を巡る、聖地巡礼バスツアーを2回開催し、延25名が参加した。またファンクラブ限定座談会（オンラインと併用）を3回実施し延12名が参加した。</p> <p>「地域に関わる入門講座in下野市」と題した関係人口創出イベントを都内で1回、市内で2回開催し、計26名が参加した。また、県外の大学生インターンを3名招き、本市の地域の課題解決に取り組む事業に協力してもらった。</p> <p>移住定住・関係人口創出をミッションとして活動している地域おこし協力隊が企画した市外・県外向けのオンライン交流会を3回実施し、延15名が参加した。</p> <p>令和4年度はリアルイベントを多く実施することができたため、同じ参加者が何度も本市に足を運んでいただいた。</p>					
	担当課	総合政策課			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和2年	令和3年	目標値 令和4年度
4	観光入込客数	年度目標値	2,360,000人	2,410,000人	2,460,000人
		実績値	1,797,291人	1,939,975人	2,185,926人
<p>これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響のなか、天平の丘公園を会場とするイベントでは、第43回天平の花まつり及び第25回天平の芋煮会が中止となったが、第4回しもつけ燈桜会（令和4年8月）は、会場内の飲食を禁止するなどの制限を設け開催することができた。また、市内で一番の観光客数を見込む道の駅しもつけにおいても、これまでの時短営業を通常営業に戻すなど、観光客数の回復が進む要因となった。</p>					
	担当課	商工観光課			

## 地方創生拠点整備交付金活用事業

### 下野市市民活動センター施設整備事業

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年度	目標値 令和7年度
1	新規市民活動補助事業数	2件		8件	11件	15件	19件
	年度目標値			8件	11件	15件	19件
	実績値			6件			
これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組		<p>地域課題の解決と市民主体のまちづくりに向けて自主的に取り組む団体の市民活動に対し、事業目的及び計画等の審査を経て補助金による支援を行う下野市市民活動補助事業のうち新規事業数は、本事業開始前から6件増加した。対象事業は本市特産であるかんぴょうを活用した地域振興事業、地域の夏祭り事業、食育や子ども居場所づくり、まちの景観づくり事業等であった。今後も市民活動の拠点である市民活動センターが有する情報発信や運営相談、人材育成等の機能を活用し、補助制度や対象事業のPRに努め、新規事業増加や既存事業の継続を図る。</p>					
担当課		市民協働推進課					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年度	目標値 令和7年度
2	施設の利用者数	0人		3,000人	7,000人	12,000人	18,000人
	年度目標値			3,000人	7,000人	12,000人	18,000人
	実績値			7,000人			
これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組		<p>令和4年5月16日に市民活動センターがオープンした。センター内には、登録した団体が利用可能な会議室・研修室が6部屋あるほか、誰でも利用可能な交流スペースが設けられている。オープン初年度ではあるものの、センターまつりなどの事業展開の効果もあり、令和5年3月末時点で、会議室・研修室が約4,100人、交流スペースが約2,900人の利用があった。今後も、団体登録の推奨や施設のPRを行っていき、利用者数の増加に努めていく。</p>					
担当課		市民協働推進課					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年度	目標値 令和7年度
3	関係人口事業関連イベントへの参加者数	50人		180人	190人	200人	200人
	年度目標値			180人	190人	200人	200人
	実績値			81人			
これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組		<p>ご当地アニメ「サクラノチカイ」の聖地を巡る、聖地巡礼バスツアーを2回開催し、計25名が参加した。またファンクラブ限定座談会（オンラインと併用）を3回実施し計12名が参加した。「地域に関わる入門講座in下野市」と題した関係人口創出イベントを都内で1回、市内で2回開催し、計26名が参加した。また、県外の大学生インターンを3名招き、本市の事業に協力してもらった。移住定住・関係人口創出をミッションとして活動している地域おこし協力隊が企画した市外・県外向けのオンライン交流会を3回実施し、15名が参加した。令和4年度はリアルイベントを多く実施したため、同じ参加者が何度も下野市に足を運んで参加していただいた。令和5年度も継続的な関係を築けるようなイベントを実施して関係人口を増やしていきたい。</p>					
担当課		総合政策課					

※KPI設定期間は令和3年度から令和7年度の5年間だが、市民活動センターが令和4年度にオープンしたため、令和4年度実績から検証を始める。